



南部町立南部中学校 学校だより 第4号

チーム南部中

令和2年 6月12日(金)

校長 望月和彦

学校は徐々に通常モードに！

5月25日に学校が再開してから、3週間が経ちました。毎日の体温・健康チェック、授業時間のマスクの着用、こまめな手指消毒、教室の換気、できるだけ3密を回避した授業、学年毎の給食、教室のアルコール消毒など「新しい学校生活のルール」を守りながら、学校生活も徐々に軌道にのってきました。とはいえ、いくら注意していても100%感染しないということはいきりきり、一旦感染が拡大すれば再び学校生活に大幅に制限がかかり、再び臨時休業ということもありえます。学校としてできる感染症対策を、教職員と生徒が力を合わせて実施していくとともに、生徒たちが学校で生活している1時間1時間を大切に、充実したものにしていこうと力を注いでいきたいと思えます。



生徒下校後のアルコール消毒

再開後一週間が経過した6月2日(火)から、県の「部活動の再開に関するガイドライン」に沿って部活動も段階的に開始しました。部活動は、生徒たちの多くが学校生活の中で楽しみや喜びを感じ、それぞれが持っているエネルギーを発散する場でもあります。1週目は30分程度、2週

目は1時間程度、3週目1時間半程度、形態も個人練習→グループ練習→チーム練習というように工夫しながら、徐々に通常の活動に戻っています。朝練習は、スクールバスの密状態を防ぐためにも部活再開と同時に始めました。1年生は例年なら、2・3年生と一緒に活動している時期ですが、まだ入部も決定していません。放課後、小グループに分けてすべての部活動を見学できるようにしています。7月初旬には正式入部が確定する予定です。



3密を回避しながらの部活動

中高連携のアシスト授業

昨年度より、本校と身延中、身延高校は、県内公立校で唯一の連携型中高一貫教育校として正式にスタートしました。12の連携事業があるのですが、その柱が「アシスト授業」です。高校の教員が中学3年生(12月からは2年生)の授業へ、逆に中学校の教員が高校1年生の授業へ出向き、担当教員とともに学習をサポートするものです。6月2日から身延高校の大木賢一教諭が3年生3クラスの数学の授業に週2回入ってくれています。複数の教員により学習のサポートを受けたり、高校の発展的内容を絡めて教えていただいたりすることで、生徒たちの学力向上につながることを期待しています。本校からは英語科の飯島健太教諭と数学科の深澤良人教諭が、水曜日に身延高校1年生の授業のサポートに出かけています。



アシスト授業

※4月から2年生とあじさい・ふれあいの数学の授業は青木直之教諭が担当していましたが、都合により、5月25日から深澤良人教諭が担当することになりました。

臨時休業の教育活動への影響と本校の対策

外出自粛、3密回避などの感染症対策により、社会の中でも様々な行動制限や行事やイベントが中止になったりしています。本校でも臨時休業と生徒たちの健康と安全を守るために多くの行事が中止や延期になり、内容変更を決定した行事もあります。楽しみにしていた行事や目標にしていた行事がなくなり、残念な思いを感じた生徒もたくさんいたと思います。特に選手権大会や吹奏楽コンクール



は、多くの生徒が部活動の目標にしてきた大会であり、特に3年生は大きな悲しみや空しさを感じたのではないのでしょうか。でも時間を後戻りさせることはできません。これからの中学校生活をより良いものにするために、新たな目標を定めて前を向いてがんばってほしいと思います。これまでに中止や延期になったり、内容を変更したりすることが決まった主な行事は次のとおりです。

中止	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと探訪、吟行（1年）→中止。俳句は授業で行う。 ・峡南地区選手権大会及び県大会→中止 ・家庭訪問（1年）教育相談（2・3年）→中止。年間を通した「教育相談」で対応。 ・中間テスト（全学年）→中止。教科ごとの単元テストで対応。 ・福祉施設訪問（1年）→中止。福祉学習は可能な時間で実施。 ・地区陸上→中止。 ・高校説明会（3年）、PTA高校見学会→中止。他の方法で高校の情報収集。 ・職場体験学習（2年）→中止。職業学習は、学活や総合の時間等を使い可能な時数で実施。 ・芸術鑑賞教室→中止。来年度実施。 ・プールの授業→耳鼻科・眼科検診ができていないため中止。 ・県吹奏楽コンクール→中止。 ・連携型中高一貫教育校としてのサマーセミナー（3年）、防災セミナー→中止。
延期	<ul style="list-style-type: none"> ・地区総体→7月後半の休日に 県総体→7月後半から8月前半の土日に。 ・修学旅行（3年）→10/12～15に。 ・宿泊学習（2年）→10/13～14に。 <div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> これらは今のところの予定であり、今後、日程や内容が変更になる可能性もあります </div>
内容変更	<ul style="list-style-type: none"> ・輝城祭→例年土曜日の午後と日曜日の1日の1.5日で実施してきましたが、生徒たちの健康や安全を考え、授業時数を確保するために、今のところ9月12日（土）の1日で実施することにしました。内容については、生徒会が中心となり検討しているところです。参観者の制限等についても検討しています。

今後も、「音楽発表会」「スキー教室」「3年生を送る会」「卒業式」など大きな行事が予定されていますが、感染症の状況を把握しながら内容や実施方法等を決めていきたいと思ひます。

臨時休業による授業日の減少と生徒の学力低下についての不安を解消するために、県教育委員会や町教育委員会の指導を受けながら、次のような対策を行います。特に3年生については、進路決定を控えているので、生徒たちが不利な状況にならないように最善を尽くしていきます。

夏休みの短縮	夏休みを8月1日（土）～8月23日（日）に
休業日を授業日に	県民の日（11月20日）と創立記念日（11月26日）を授業日に
教育課程の修正	ア 系統性を問わない授業（学活、道徳、総合）の時数削減 イ 3密回避の視点から実技教科（音楽、技家、保体、美術）の時数削減 ウ 教育効果を考えながら行事の中止と取り組み時間の削減（教科の授業はできる限りつぶさないようにする） ※全学年とも5教科（国・社・数・理・英）の標準時数は確保する
家庭学習のサポート	<ul style="list-style-type: none"> ・授業とのつながりを意識した家庭での学習課題を出し、取り組ませる。 ・家庭学習をサポートする授業動画の配信（臨時休業中に試行） ・学習の相談体制の充実（放課後や長期休業中の学習会も含めて）